

何にお金を使っている？

～全国消費実態調査から見る消費の特徴～



皆さん、「全国消費実態調査」をご存じですか？ 総務省統計局が5年ごとに実施している調査で、その名前の通り、国民がどんなものにお金を使っているのか、また、その世帯の収入などを調査しています。この調査と類似したものに「家計調査」があります。全国消費実態調査は家計調査より調査規模が大きく、より詳細な結果を得ることができます。

今回は 2014 年の全国消費実態調査の結果から、一人暮らし(単身世帯)と二人以上で住んでいる人(二人以上の世帯)の暮らしを比べていきたいと思います。



	1ヶ月間の消費支出(円)
二人以上の世帯	292,882
単身世帯	169,545



1ヶ月間の消費支出(※)は上の表のとおりです。

食べ物や衣服など日常必需品は世帯人数によって支出金額が変わります。今回は各項目が消費支出に占める割合も見ながら、単身世帯と二人以上の世帯の消費構造の違いを見ていきたいと思います。

①衣服(被服及び履物)

	1ヶ月間の支出金額(円)	消費支出に占める割合(%)
二人以上の世帯	12,447	4.2
単身世帯	7,717	4.6

まずは毎日着る衣服から見ていきましょう。今回の調査では、単身世帯よりも二人以上の世帯の方が消費額が多いという結果でした。

しかし、消費額では単純に比較することはできないので、消費支出に占める割合もみてみましょう。

二人以上の世帯 4.2%と比べて単身世帯は 4.6%となっています。わずかですが、単身世帯の方が上回っています。例えば、二人以上の世帯では兄弟や親子で着なくなった服をあげるなど着回しの工夫がされているのではないのでしょうか。

※消費支出・・・原則として、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して支払った現金支出、カード及び商品券を用いた支出。仕送り金や贈与金なども含まれる。



② 外食

	1ヶ月間の支出金額(円)	消費支出に占める割合(%)
二人以上の世帯	12,370	4.2
単身世帯	12,003	7.1

続いて、外食にかける金額を比較してみましょう。外食にかける金額は12,000円程度とあまり差はみられませんが、消費支出に占める割合は二人以上の世帯4.2%、単身世帯は7.1%と単身世帯が上回っています。一人分の食事を自分のためだけに用意する手間を考えると、外食の方が楽でよいと思う人が多いのかも知れません。



③ ゲームソフト

	1ヶ月間の支出金額(円)	消費支出に占める割合(%)
二人以上の世帯	96	0.0
単身	157	0.1

こちらはゲームソフトにかける金額を表したものです。ゲームソフトの金額を5000円とした場合、二人以上の世帯では5年に一度くらいしか購入しないのに対し、単身世帯では3年に一度は購入している計算になります。一人で楽しめるゲームが多いのも理由の一つかもしれませんね。

また、世帯主を30歳未満に限定してそれぞれの世帯を見てみましょう

	1ヶ月間の支出金額(円)	消費支出に占める割合(%)
二人以上の世帯(30歳未満)	222	0.1
単身世帯(30歳未満)	747	0.5

単身世帯は二人以上の世帯の3倍以上、支出していることとなります。

今回は全国消費実態調査から二人以上の世帯と単身世帯の支出について比較してみました。現在、同調査は「全国家計構造調査」に生まれ変わり、調査が行われています。今回紹介したデータは2014年のものですが、「おひとりさま」専用商品・ビジネスが話題となっている現在、二人以上の世帯・単身世帯の支出の変化に注目すると面白いのではと思います。ぜひ調べてみてください。

データ出典：平成26年全国消費実態調査(総務省統計局)